

みずほCustomer Desk Report 2022/10/05 号 (As of 2022/10/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.78
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	144.52	0.9835	142.07	1.1344	0.6502
SYD-NY High	144.94	0.9999	144.07	1.1490	0.6547
SYD-NY Low	143.90	0.9807	142.07	1.1282	0.6451
NY 5:00 PM	144.16	0.9988	143.88	1.1477	0.6502

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,316.32	825.43	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	10,815.43	239.81	日本10年債	0.2300%	▲0.0100%
S&P	3,790.93	112.50	米国2年債	4.0957%	▲0.0157%
日経平均	26,992.21	776.42	米国5年債	3.8531%	▲0.0277%
TOPIX	1,906.89	59.31	米国10年債	3.6329%	▲0.0087%
シカゴ日経先物	27,180.00	575.00	独10年債	1.8770%	▲0.0140%
ロンドンFT	7,086.46	177.70	英10年債	3.8530%	▲0.0900%
DAX	12,670.48	461.00	豪10年債	3.7160%	▲0.1950%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	11.44%	▲0.83%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.28%	▲0.62%
NY金	1,730.50	28.50	USDJPY 6M Vol	11.17%	▲0.50%
WTI	86.52	2.89	USDJPY 1M 25RR	▲1.56%	Yen Call Over
CRB指数	280.43	7.61	EURJPY 3M Vol	12.81%	▲0.61%
ドルインデックス	110.07	▲ 1.68	EURJPY 6M Vol	12.79%	▲0.52%

東京	東京時間のドル円は144.52レベルでオープン。北朝鮮による日本上空を通過する弾道ミサイルの発射報道に、リスクオフの円買いが強まり、ドル円は一時144.42まで下落。一巡後は仲値にかけてドル買いが強まるとともに、堅調な日経平均株価の推移を横目に144.91まで上昇。その後も底堅く推移し144.81レベルで海外時間へ渡った。尚、東京時間12時半過ぎに発表された豪政策会合では、市場予想に反し+25bpのキャッシュレート引上げに留まり、AUD円は一時93.50近辺まで下落した。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.81レベルでオープン。材料難でもみ合い。144.53-85で取引され144.81レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.1347レベルでオープン。英国債が落ち着いた寄り付きとなったことで一時1.1428まで買われるが、反落すると今度は1.1300まで下落。結局1.1336レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク市場のドル円は144.81レベルでオープン。朝方は特段材料は見当たらなかったが、米株の堅調推移で有事のドル買いが巻き戻されたためか、144.50付近まで下落。10時発表の米8月製造業受注件数は予想通りの結果、米8月JOLT求人件数は予想を下回るも市場の反応は限定的。その後、対ユーロやポンドのドル売りが強まり、ドル円にも波及し、144円ちょうど付近まで続落。午後は上値重い推移が続く、何度か144円を割り込む場面もあった。終盤には安値を143.90まで更新し、結局、144.16レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルはアジア時間は動意乏しく推移したが、その後は欧州株の堅調推移を受けて上昇したユーロ円に連れ高となる中、一時0.99台を回復。買い一巡後、小幅反落し、0.9892レベルでNYオープン。朝方はビル・ロッド・ガーランド中銀総裁の「ECBは2023年には利上げペースを緩和する可能性がある」、「年内に政策金利を2%近くまで引き上げるべきだ」などの発言が伝わるも市場の反応は限定的だったが、海外時間の流れは引き継がれ、0.99近辺まで回復。その後もじりじりと上昇を続け、9月20日以来の144円台に上抜けを試すも、高値は0.9999に留まった。終盤は小幅反落し、0.9988レベルでクロス。

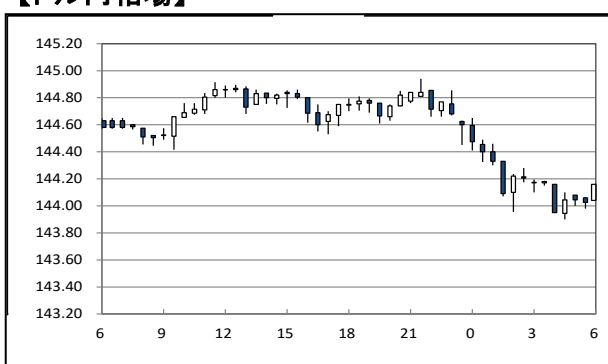
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月4日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	4-Oct 2.60%	2.85%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 5.0%/43.3%	5.0%/43.2%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	8月 0.0%	0.0%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	8月 0.2%	0.2%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	8月 -0.2%	-0.2%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	8月 0.3%	0.2%

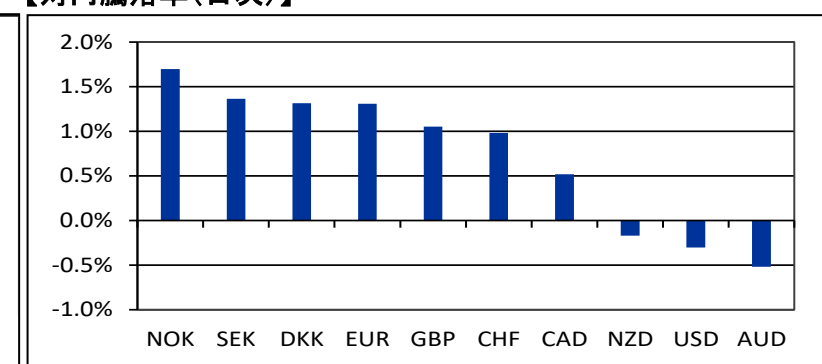
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月5日	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.0%/-1.5%	-1.6%
	15:45	仏 製造業生産(前月比)	8月 -0.6%	-1.6%
	15:45	仏 製造業生産(前年比)	8月 -	0.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 200k	132k
	21:30	米 貿易収支	8月 -\$67.7b	-\$70.7b
	22:15	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	9月 56.0	56.9
10月6日	05:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-145.00	0.9900-1.0500	143.00-144.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な展開となった。欧州株高に伴うクロス円の上昇につれてドル円も144.91まで上昇するも円買い介入警戒感の見られる水準である145円を手前には伸びを欠く展開。米8月雇用動態調査(JOLTS)は前回結果から大幅に減少、また、予想を下回る結果となったこともドル売りを促した。本日のドル/円はもみ合う展開を予想。5・10日デアリ実需の買いがサポート要因にはなると思われるが、政府・日銀による介入警戒感から昨日の上昇局面でも145円台に定着することができず上値の重さが確認されている。週末に控える米雇用統計についても昨日の雇用動態調査からは米経済指標の結果が弱い可能性も考えられ米景気の減速が進んでいるとの見方も台頭。そのため、ドルが上昇基調に乗ることは難しいと思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・大橋